

## MJIIT 院長一行が来学、防災分野の教育研究連携について意見交換

2015年3月27日、マレーシア日本国際工科院（MJIT）の Rubiyah Yusof 院長一行が本学生命環境系を訪問し、防災分野の教育研究の連携可能性について意見交換を行いました。

先般マレーシア北東部において発生した大規模水害を受けて、マレーシアでは防災専門家育成の重要性に対する認識が高まっています。こうした社会ニーズに応えるため、MJIT では、日本の大学等の協力を得ながら防災・災害対応分野の教育研究の発展に取り組む方針とのことです。筑波大学はこれまで、水資源・藻類分野を中心に MJIT との連携を推進してきましたが、防災分野を含むさらなる連携拡大について、意見交換を行いました。合わせて、継続して協議を重ねているジョイントディグリープログラムについても議論がなされ、学生・教員交流を含め総合的な連携をさらに強化していく方向性を確認しました。

MJIT 一行は Rubiyah Yusof 院長、Ezzat Chan Abdullah 副院長、小林史典教授、Pramila Tamunaidu 上級講師、Siti Rahmah binti Aid 上級講師、梅宮直樹 JICA 専門家・客員准教授の 6 名の教員の方々と、MJIT・筑波大学間の全体的な協力推進に関する白岩善博系長、松本宏教授との懇談ののち、防災分野に関する意見交換を行いました（辻村真貴持続環境学専攻長、宮本邦明教授、浅沼順教授、西本晴男教授、水野谷剛准教授、甲斐田直子助教が参加）。



（写真左より）辻村専攻長、Pramila上級講師、Siti上級講師、小林教授、Ezzat教授、梅宮専門家、宮本教授、Rubiyah院長、西本教授、浅沼教授、水野谷准教授



意見交換の様子